

# 株式会社 桜製作所

■注文家具の製造・販売、店舗内装工事・設計・施工

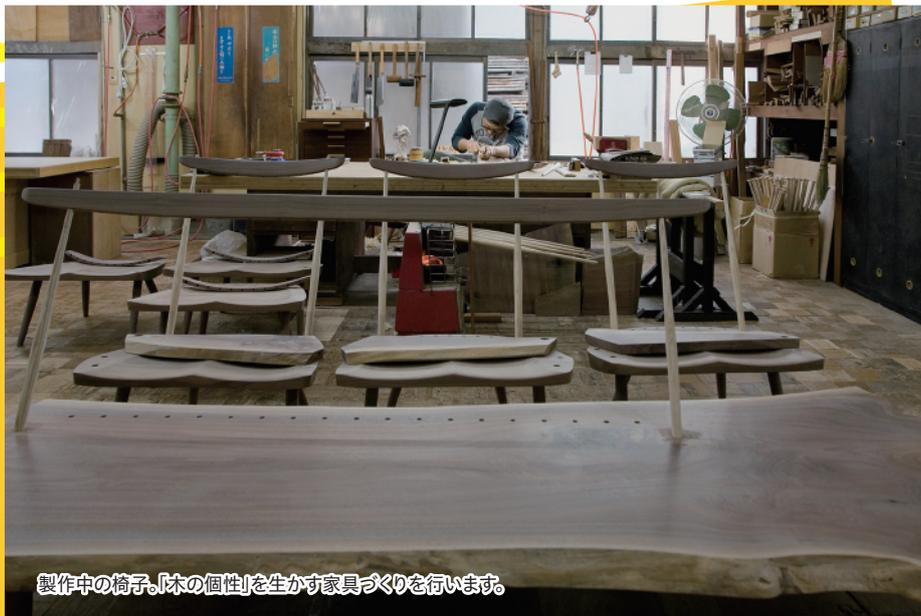
ジョージ ナカシマの家具をはじめ  
木の心を生かした家具を製作。



無垢の木の小物も製作。  
小さな干支の置物は人気製品。



ブラックウォルナット  
(くるみの木)で、テーブル  
の脚を製作中。



製作中の椅子。「木の個性」を生かす家具づくりを行います。



ジョージナカシマの椅子は職人も驚くような  
細部へのこだわりがあり、そこから座り心地の  
違いが生まれます。



工房には「ジョージナカシマ記念館」があり、  
家具の見学とともに、氏のものづくりの哲学を  
知ることができます。

## AI時代を前に「ものづくり」を再考。

1948年の創業以来、無垢の木の風合いを生かした流行にとられない注文家具を生産。「美しいものは変わらない」「いいものを長く使っていただきたい」をモットーとし、個人邸はもちろん、東京都現代美術館やシンガポールのシャングリラホテル等にも納めています。

20世紀を代表する日系米国家具デザイナー・ジョージナカシマの、アメリカ国外での唯一のパートナー工房として知られ、海外ファンも多数。併設する記念館に足を運び見学者も絶えません。同社は迫り来る「AIによるものづくり」の波を、手仕事の価値を上げる大きなチャンスと捉え、「新時代の職人」のあり方をさまざまに模索しています。

取り組みの一つが、古い技術の継承です。昔からある部材や技術を絶やさず、丁寧に自社製品の保守を行う体制を維持することが、

これからのものづくりを支えると考えます。もう一つは意識改革。五感を使う手仕事以上のものづくりができる職人を育てていきます。



### Staff Voice

木に触れる楽しく充実した毎日。

木地場 森原 力さん

高松工芸高等学校のデザイン科在学中から、大学で勉強するより少しでも早く実際に木に触れたいと感じ、職人の道を選びました。憧れの職場では3年目の今も「ものづくり」のすべてが勉強になり、楽しく充実しています。将来は各々の木の持ち味を見極め、生かせる職人が目標です。



工房の前は、小さな森のような行まい。



### 新しい職人の時代を見据えます。

AI時代に入ると、手仕事の意味は変わります。「機械が作ったおにぎりと、人の手で握るおにぎりの味の違いがどうして生まれるか?」のような哲学的命題を考えざるを得なくなり、より優秀な職人が必要となるでしょう。そのために今、何をすべきか模索中です。

代表取締役社長 永見 宏介

### Company Profile

本社：香川県高松市牟礼町大町1132-1

☎ 087-845-2828

☎ 087-845-2829

<https://www.sakurashop.co.jp/>

設立 ■ 1948年10月

資本金 ■ 1,000万円(2018年10月現在)

従業員数 ■ 27名(2018年10月現在)